
とある女達(アイテム)の雑談

超電磁ボーイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アイテム
とある女達の雑談

【Nコード】

N2895Q

【作者名】

超電磁ボーイ

【あらすじ】

禁書15巻前の設定のアイテムです

(前書き)

がんばりました！

ここは、学園都市のファミレスである

「結局麦野くになにやる？」

「とりあえず、鮭弁食べるかな」

「左斜め前から、レールガンのAINを感じた」

「第3位がいるんだ」

「あれく最愛どこいるの？」

「B級映画観に行った・・・第10学区」

と滝壺がだるそうに答えた

そう、ここにいるのは暗躍組織「アイテム」である

最近は、仕事もなくみんな自由行動なのである

「そういえば、浜面どこいったの？」

「結局私の、缶づめ買いにいったんよ」

「あっそ」

とファミレスにいろいろ持ち込みそこで食べるを繰り返してやるのである。

「おい！買ってきたぞ！これでいいんだな？」

と浜面が到着したのである

「確かに、あつてるね、浜面でもできるんですね」

「馬鹿にするな！フレンダ」

はいはい、とどうでもいい感じでながされた

そこで浜面が麦野に話をふることにした

「で？今日はなにするんだ？麦野？」

うーんと考えてるのか窓の向こうをみて

「自由行動でいいでしょ？」

『・・・・・・』

みんなが、固まっていると

「どうかしたの？」

「ぜんぜん、なら俺どつか行くぞ？」

と確認すると

「いつてらっしゃい！電話にはでてね」

「わかった」

はいばい！と麦野が鮭弁を食べながら手をふった
そしてフレンダが

「結局私は、どうすれば？」

「どこかに行けば？ねえ滝壺」

「うんそうだよフレンダ」

うんとうなっている

「やつほゝ第3位！元気？」

あつ！滝壺とフレンダがあたふたしてると

「アンタ！たしか・・・第4位の原子崩し！」

と御坂が叫ぶと

「私は、麦野よ！御坂さん」

あつそと御坂が言う

「私、これから予定あるからまたね」

と御坂が店を後にしてしまった

「暇になっちゃった」

この後待ち受ける悲劇（現実）も知らずに過ぎていくのだった

（後書き）

どうでしたか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2895q/>

とある女達(アイテム)の雑談

2011年1月26日08時00分発行